

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 8日

都道府県知事  
(市長) 殿

提出者  
住 所 静岡市清水区庵原町155番地の12  
氏 名 株式会社エイ・コーポレーション  
代表取締役 青木 剛次  
電話番号 054-363-1517

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

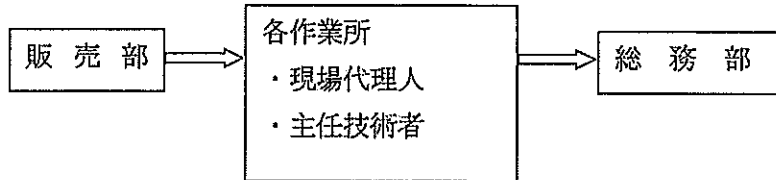
事業場の名称	株式会社エイ・コーポレーション		
事業場の所在地	静岡市清水区庵原町155番地の12		
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	土木工事業・採土事業・砕石販売業及び産業廃棄物収集運搬業		
② 事業の規模	前年度実績	3,398万円	
③ 従業員数	18名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>各作業所 → <div><ul style="list-style-type: none"><li>・アスファルトコンクリート塊</li><li>・コンクリート塊</li><li>・木くず ・ガラス</li><li>・廃プラスチック類</li><li>・混合（管理型）（安定型）</li><li>・建設汚泥 ・金属くず</li><li>・動植物性残渣</li></ul></div> → 委託処理（中間処理：焼却）</div>		



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルトコンクリート塊
	排 出 量	600.124 t	823.218 t
	(これまでに実施した取組)  各工事作業所毎、設計図書に準じて作業を行っているが、無理・無駄を減らすことを行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルトコンクリート塊
	排 出 量	420.0 t	530.0 t
	(今後実施する予定の取組)  各工事作業所で、設計対象物以外の構造物取壊しをできるだけ回避し産業廃棄物の排出・抑制を目指す。		

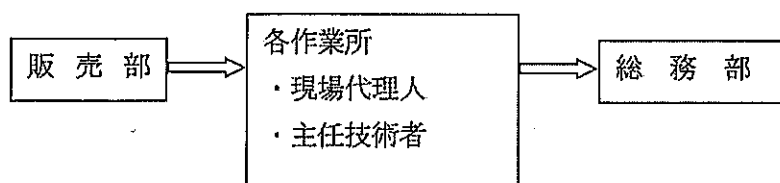
## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート塊について、有筋無筋を分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊をゴミ分離し再生利用できるものに分別する。

## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		「別紙のとおり」	
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	
	排 出 量	302.441 t	33.211 t	
	(これまでに実施した取組) 各工事作業所毎、設計図書に準じて作業を行っているが、無理・無駄を減らすことを行っている。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	
	排 出 量	14.0 t	1.7 t	
	(今後実施する予定の取組) 各工事作業所で、設計対象物以外の構造物取壊しをできるだけ回避し産業廃棄物の排出・抑制を目指す。			

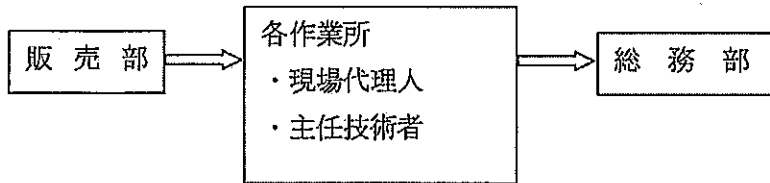
## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず：各工事作業所等で発生する木材等再利用できるものを分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：プラスチックの種類ごとに分け、原材料として再利用できるものを分別する。

## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

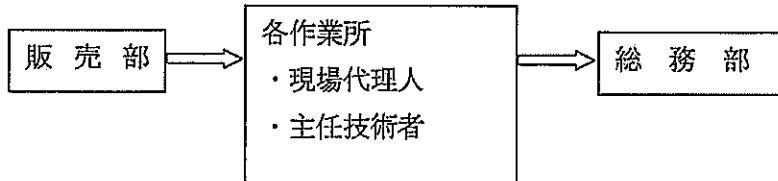
③ 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		「別紙のとおり」
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）
	排 出 量	8.341 t	0.0 t
	（これまでに実施した取組） 各工事作業所毎、設計図書に準じて作業を行っているが、無理・無駄を減らすことを行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）
	排 出 量	5.0 t	0.05 t
	（今後実施する予定の取組） 各工事作業所で、設計対象物以外の構造物取壊しをできるだけ回避し産業廃棄物の排出・抑制を目指す。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各工事作業所で発生する混合廃棄物は、設計書に準じて作業を行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各工事作業で、設計対象物以外の構造物取壊しをできるだけ回避し産業廃棄物の排出・抑制を目指す。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		「別紙のとおり」	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス	
	排 出 量	4.29 t	0.0 t	
	(これまでに実施した取組) 各工事作業所毎、設計図書に準じて作業を行っているが、無理・無駄を減らすことを行っている。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス	
	排 出 量	5.0 t	2.0 t	
	(今後実施する予定の取組) 各工事作業所で、設計対象物以外の構造物取壊しをできるだけ回避し産業廃棄物の排出・抑制を目指す。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設汚泥・ガラス：再利用できるものを分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類ごとに分け、原材料として再利用できるものを分別する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <pre> graph LR     A[販売部] &lt;--&gt; B[各作業所 ・現場代理人 ・主任技術者]     B &lt;--&gt; C[総務部]           </pre> </div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		「別紙のとおり」
	産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類
	排 出 量	6.46 t	2.812 t
	(これまでに実施した取組) 各工事作業所毎、設計図書に準じて作業を行っているが、無理・無駄を減らすことを行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類
	排 出 量	0.5 t	0.1 t
	(今後実施する予定の取組) 各工事作業所で、設計対象物以外の構造物取壊しをできるだけ回避し産業廃棄物の排出・抑制を目指す。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・がれき類：再利用できるものを分別する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類ごとに分け、原材料として再利用できるものを分別する。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		「別紙のとおり」
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	—
	排 出 量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組) 各工事作業所毎、設計図書に準じて作業を行っているが、無理・無駄を減らすことを行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	—
	排 出 量	0.01 t	t
	(今後実施する予定の取組) 各工事作業所で、設計対象物以外の構造物取壊しをできるだけ回避し産業廃棄物の排出・抑制を目指す。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣：再利用できるものを分別する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類ごとに分け、原材料として再利用できるものを分別する。		

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自社で直接再利用した産業廃棄物はありません。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はありません。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社で中間処理した産業廃棄物はありません。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定はありません。		



## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 予定はありません。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルトコンクリート塊
	全 処 理 委 託 量	600.124 t	823.218 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0.26 t	0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	599.864 t	823.218 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から生じたものは、産業廃棄物処理業者に委託している。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度 令和4 年度 実績】 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	302.441 t	33.211 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	9.186 t	11.83 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	293.255 t	21.381 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から生じたものは、再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
③ 現状	【前年度 令和4 年度 実績】 *混合（管理型）「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）
	全 処 理 委 託 量	8.341 t	0.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	6.63 t	0.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.711 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から生じたものは、再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			

④ 現状	【前年度 令和4 年度 実績】＊建設汚泥「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス
	全 処 理 委 託 量	4.29 t	0.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4.29 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から生じたものは、再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

⑤ 現状	【前年度 令和4 年度 実績】 「別紙のとおり」		
	産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類
	全 処 理 委 託 量	6.46 t	2.812 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	2.812 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	6.46 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から生じたものは、再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
⑥ 現状	【前年度 令和4 年度 実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	—
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工事現場から生じたものは、再生利用ができる委託業者に処理を委託している。		

## (第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルトコンクリート塊
	全 処 理 委 託 量	420.0 t	530.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	420.0 t	530.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	引き続き、産業廃棄物処理業者に委託する。		
※事務処理欄			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	14.0 t	1.7 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	7.0 t	1.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	14.0 t	1.7 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	引き続き、産業廃棄物処理業者に委託する。		
※事務処理欄			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合（管理型）	混合（安定型）
	全 処 理 委 託 量	2.0 t	0.05 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2.0 t	0.05 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2.0 t	0.05 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	引き続き、産業廃棄物処理業者に委託する。		
※事務処理欄			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	建設汚泥

		全 処 理 委 託 量	0.5 t	5.0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.5 t	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.5 t	5.0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) 引き続き、産業廃棄物処理業者に委託する。		
※事務処理欄				
②計画		【目標】		
		産業廃棄物の種類	金属くず	がれき類
		全 処 理 委 託 量	0.5 t	1.0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	1.0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.5 t	1.0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
(今後実施する予定の取組) 引き続き、産業廃棄物処理業者に委託する。				
※事務処理欄				
②計画		【目標】		
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	—
		全 処 理 委 託 量	0.01 t	0 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.01 t	0 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t		
(今後実施する予定の取組) 引き続き、産業廃棄物処理業者に委託する。				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。